



いなむら

稲村ひさお 道政だより

2013年 夏号

発行

稲村ひさお事務所
砂川市晴見3条北10丁目9番4号
TEL・FAX 0125-54-3385

任期後半も全力疾走!!

ようやく北海道も本格的な夏を迎え、暑い日が続くようになりました。皆様も外出される機会が多くなると思いますが、くれぐれも体調管理にはお気をつけください。

さて、先に行われた参議院選挙において、民主党は昨年12月の衆議院選挙に続き非常に厳しい審判を受けました。しかし、現在の安倍政権は、経済政策ばかりがクローズアップされ円安株高で景気が回復していると持てはやされていますが、恩恵を受けているのは大都市圏や一部の富裕層だけであり、とりわけ北海道に暮らす私達には全く実感できません。T P P 交渉やエネルギー問題、

そして憲法議論などを曖昧にされた中で、本当に私達の意思を反映した選挙結果と言えるでしょうか。この選挙結果だけを受けて、私達がたじろぐ訳にはいきません。道議会が国に対してT P P 交渉反対の意見書を採択したように、私達は地域の声を背に安倍政権に対しても高橋道政に対しても、はっきりと物申す姿勢を貫きます。

私の2期目も折り返しを迎えました。任期前半は政策審議会の筆頭副会長として、道内各地の様々な声をお聞かせいただき、道政を取り巻くあらゆる分野の課題解決に取り組んでまいりました。後半も重要な立場に就くことになり、皆様への感謝の心を忘れず全力疾走する気持ちを新たにしているところです。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



予算委員会委員長席にて

北海道議会議員 稲村久男

2013 稲村ひさおを囲む集い



8月24日(土)午後4:00~
砂川総合福祉センター
砂川市西7条北4丁目1-1
会費 1,500円

皆様とお話できることを楽しみにしています。
抽選会もありますので、ぜひお越しください。

お問合せ：稲村ひさお事務所
TEL：0125-54-3385



稲村ひさおホームページ <http://www.i76rider.ecweb.jp/>

稲村ひさお 検索

議会活動報告

■ 後期は「議会対策委員長」

道議会議員として2期目の折り返し点を過ぎました。私が属する会派では5月8日の議員総会で後期の役員改選を行い、私は「議会対策委員長」を仰せつかりました。議会対策委員長は、議会を円滑に運営する役割があるため本会議での質疑は行えませんが、議会の進行を調整する立場で会派の主張を反映する重要な役職です。また、私の所属委員会は次のとおりとなりました。

- 議会運営委員会
- 保健福祉委員会
- 道州制・地方分権改革等推進調査特別委員会

以下に、前回の道政日より以降の道議会における質疑を抜粋します。

■ 第1回定例会で「消防」「地域医療」

(1) 消防の広域化に関する今後の対応

道は平成20年に「北海道消防広域化推進計画」を策定し、本年3月までに道内の68消防本部を21本部に広域化しようとしていましたが、私は面積が広い北海道で消防を広域化すれば消防機能が低下すると考え、以前から、道内一律の広域化には無理があり地域の意見を聞きながら進めるべきと主張してきました。今回は、道内で広域化が進まない理由を質問し、道の積極的な対応を迫りました。

道は、68本部のうち4本部しか広域化されておらず、集落が広く点在する状況から広域化のメリットを見出せない本部があることを理由としました。今後は、推進計画を見直し、広域化の枠組みは地域の実情に応じて対応することや、広域化を検討中の地域を優先的に支援するとの答弁を引き出しました。

(2) 消防救急無線のデジタル化

国は救急・災害時における消防通信を高度化するため、平成28年5月を期限に消防救急無線のデジタ

ル化を目指していますが、デジタル化には多額の費用がかかることを指摘し、財政支援を含め道が主体的に取り組むよう求めました。

道は、期限までに全消防本部のデジタル化が完了する見込みを示しながらも、財政支援が不可欠として市長会や町村会と連携して国に支援を要請する一方、各消防本部に細かな指導・助言を行うと答えました。

(3) 道立病院の課題

地域医療の確保・充実是一道民の待望であることを前置きし、道立病院の根本的な課題である医師確保策を質問したところ、道はこれまでの取り組みに加え、専門医資格の取得環境を充実させることや地域枠医師の活用などで医師確保に努め、江差・羽幌・北見の道立3病院で常勤医師9名を増員すると言明しました。

次に、羽幌病院では医育大学のみならず地域の中核病院から総合内科医を派遣すべきとの提案に対して、道は、道央圏の中核的な自治体病院と連携して総合内科医の確保に努める考えを示しました。

最後に道立病院の難題である経営改善に関して、収益の確保、費用の縮減と並行し、職員の経営意識の向上を求めました。道は経営コンサルを導入し経営改善方針を全職員に周知すると答えましたが、容易に改善できる経営状況ではないことを重ねて指摘し、あらゆる方策で経営改善するよう強く要請しました。

(4) がん対策

私は、道民がどこに住んでいても平等にがん診療を受けることができる医療体制の構築を訴えてきており、道は昨年より、国が指定する「がん診療連携拠点病院」とは別に道独自の「北海道がん診療連携指定病院」を指定しています。しかし、いずれの病院も無い未整備地域があることは大きな問題であるため、指定病院の要件に関する課題や未整備地域のがん医療の提供体制について質問しました。

道は、要件を満たすうえで医療従事者の確保が課題であり、医育大学の専門教育を支援して人材を育成すること、また、未整備地域では近隣の拠点病院と連携してがん医療を提供するため拠点病院へ支援を行うと答弁しました。

稲村ひさおの活動アルバム Activity record



平和憲法を守る訴え



納得するまで質問します



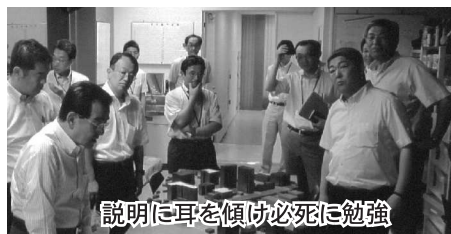
民主党第10区定期大会



各地のメーデーを訪問



夕張再生に向けた懇談



説明に耳を傾け必死に勉強